



NetApp SaaS Backup for Salesforce のドキュメント SaaS Backup For Salesforce

NetApp
February 21, 2022

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/salesforce/index.html> on February 21, 2022.
Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

NetApp SaaS Backup for Salesforce のドキュメント	1
はじめに	1
バックアップの管理およびデータのリストア	1
フィードバックを提供するか、ヘルプを入手するか、詳細を確認します	1
リリースノート	2
新機能とアップデート	2
既知の問題および制限	3
NetApp SaaS Backup for Salesforce の概要	5
はじめに	6
無料トライアルを開始する	6
有料購読の開始	17
SaaS Backup for Salesforce の管理	26
バックアップポリシー	26
即時バックアップを実行する	26
メタデータバックアップの有効化と無効化	27
データを復元しています	29
バックアップの違いを比較およびリストアする	33
データとメタデータをパージしています	34
再認証中です	35
ジョブをキャンセルしています	36
データを表示する	37
ジョブ履歴を表示します	37
アクティビティログの表示	37
アクティビティログのダウンロード	38
エクスポートデータをダウンロードしています	38
バックアップレコードを表示しています	41
フィードバックを提供する	43
ヘルプを参照したり、詳細情報を参照したりするには	44
法的通知	45
著作権	45
商標	45
特許	45
プライバシーポリシー	45
オープンソース	45

NetApp SaaS Backup for Salesforce のドキュメント

NetApp SaaS Backup は、Salesforce データを Amazon S3 ストレージにバックアップする、セキュアなクラウドネイティブサービスです。SaaS Backup を使用すると、脅威や予想外の削除からデータを保護できます。

はじめに

- ["無料トライアルを開始する"](#)
- ["有料購読の開始"](#)
- ["Salesforce サービスを設定しています"](#)
- ["本番サンドボックスインスタンスの追加"](#)

バックアップの管理およびデータのリストア

- ["即時バックアップを実行する"](#)
- ["データを復元しています"](#)

フィードバックを提供するか、ヘルプを入手するか、詳細を確認します

- ["フィードバックを提供する"](#)
- ["ヘルプを参照したり、詳細情報を参照したりするには"](#)
- ["SaaS Backup for Microsoft Office 365 のドキュメント"](#)

リリースノート

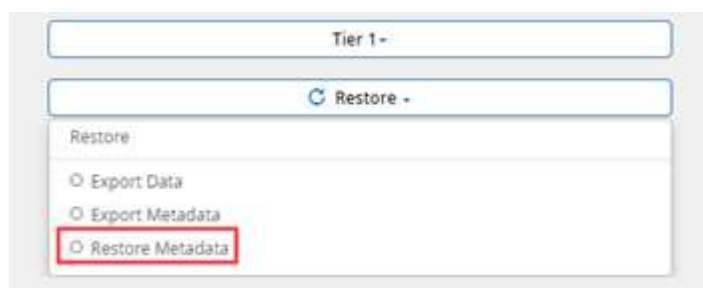
新機能とアップデート

今回のリリースの NetApp SaaS Backup for Salesforce には、次の新機能と更新が追加されています。

2020年12月

- SaaS Backup for Salesforce でメタデータがリストアされるようになりました。この機能拡張には、組織レベルのリストア、およびメタデータの単一または複数のアイテムのきめ細かなリストアが含まれます。

組織レベルのメタデータのリストア



きめ細かなメタデータのリストア



"データを復元しています"

- * バックアップの概要 * は SaaS Backup for Salesforce の機能強化であり、作成、更新、削除されたすべてのレコードの合計数が表示されます。バックアップレコードの数が Salesforce アカウントの数と一致することを確認できます。

"バックアップレコードを表示しています"

2020年10月

- SaaS Backup for Salesforce でメタデータがバックアップされるようになりました。この機能拡張には、バックアップ、オブジェクトレベルおよび組織レベルのリストア、および作成したメタデータのページが含まれます。また、メタデータのバックアップが表示される新しいタブ * メタデータの種類とコンポーネント * も用意されています。この新機能の詳細については、次のページを参照してください。

"メタデータの有効化と無効化"

- 2020 年 10 月からデータをパージできます。メタデータは 90 日後に自動的にパージされます。

"データとメタデータをパージしています"

2020年2月

オブジェクトレベルと組織レベルでデータをエクスポートできるようになりました。エクスポートごとに、以前のバックアップから添付ファイル、結果、統計情報をダウンロードできます。["エクスポートデータをダウンロードしています"](#)

既知の問題および制限

以下に、SaaS Backup for Salesforce の既知の問題と制限事項を示します。

一部のオブジェクトのバックアップで欠落しているレコード（不具合 #1169）

組織のフルバックアップまたは増分バックアップの実行後、検出されたレコードの総数と、ダウンロードされたレコードの総数との不一致が小さい場合があります。これは、特定のフィールドがクエリに追加され、その結果、すべてのレコードを返さないように Salesforce API を原因する場合に発生します。

スキーマ変更前にバックアップされたレコードの復元はサポートされていません（欠陥 #1170）

SaaS Backup では、スキーマ変更前にバックアップされたレコードのリストアはサポートされていません。この場合、リストアは失敗し、次のメッセージが表示されます。* Restore failed due to schema changes] *。

バックアップから除外されるオブジェクト

SaaS Backup for Salesforce では、次のオブジェクトはバックアップされません。

- Salesforce API を使用して照会できないオブジェクト
- 汎用クエリをサポートしないオブジェクト
- Salesforce がフィールドレベルの変更履歴をオブジェクトのレコードに追跡するために使用する履歴オブジェクト。

プライベートプレビューでサポートされていないフィーチャー

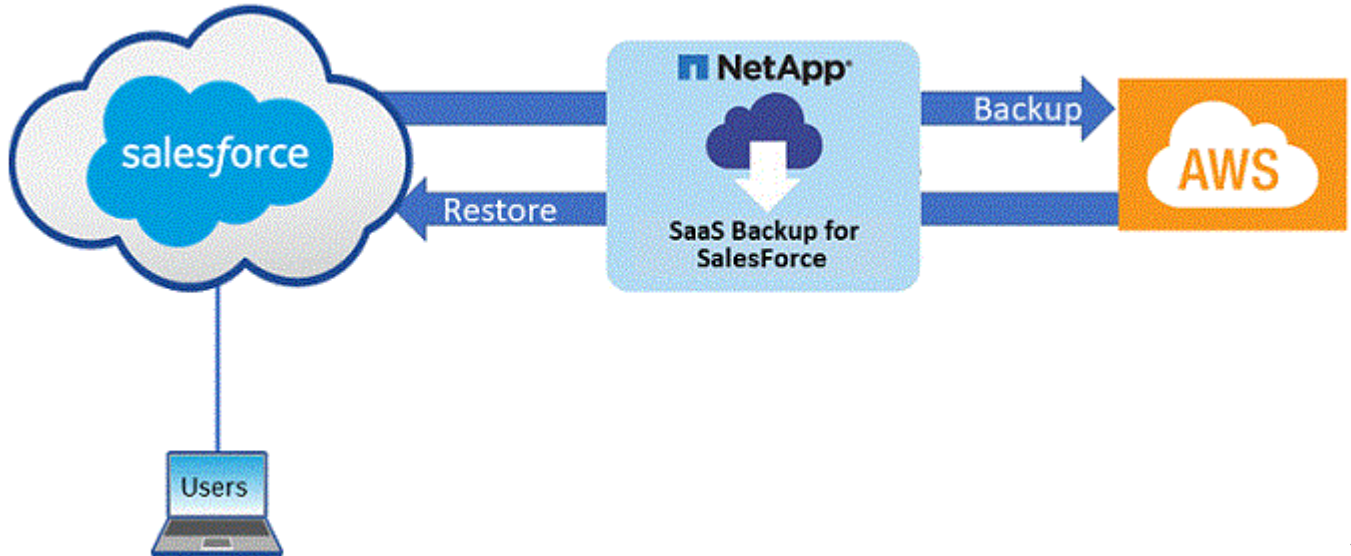
次の機能は、SaaS Backup for Salesforce のプライベートプレビューバージョンではサポートされていません。

- Salesforce の Chatter 化
- 関係タイプは次のとおりです
 - N : 1~N : N の関係
 - 自己関係

◦ 循環的な関係

NetApp SaaS Backup for Salesforce の概要

NetApp SaaS Backup for Salesforce は、Salesforce データを Amazon S3 ストレージにバックアップする、セキュアなクラウドネイティブサービスです。SaaS Backup を使用すると、脅威や予想外の削除からデータを保護できます。



注
： SaaS Backup for Salesforce のプライベートプレビューから一般的な製品の提供状況にアップグレードしても、プライベートプレビューデータは保持されません。

SaaS Backup for Microsoft Office 365 に関心がある方は、こちらのドキュメントをご覧ください "[こちらをご覧ください](#)"。

はじめに

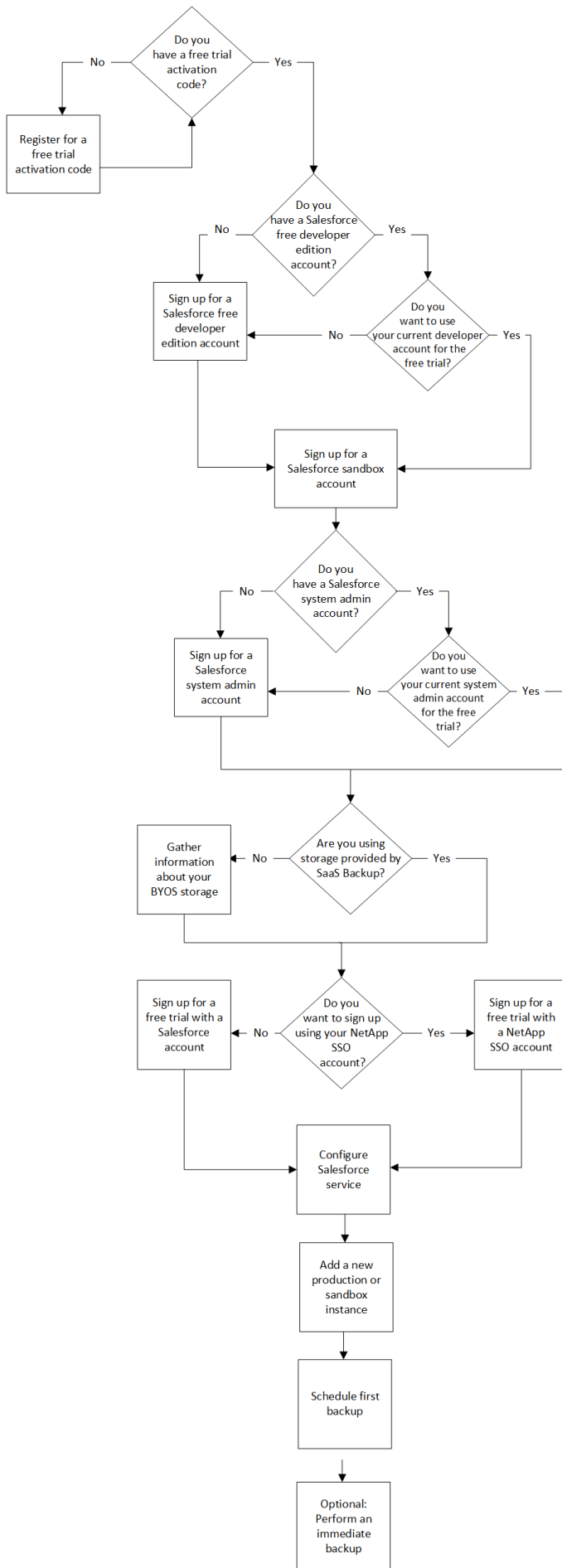
無料トライアルを開始する

SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルを開始するためのワークフロー

SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルを開始するには、次の手順を実行する必要があります。

手順

1. に注意してください ["無償トライアルの制限"](#)。
2. に登録します ["無償トライアルアクティベーションコード"](#)。
3. 必要に応じて、にサインアップします ["Salesforce 開発者エディションのアカウント"](#)。
4. 必要に応じて、にサインアップします ["Salesforce サンドボックスアカウント"](#)。
5. をまだ持っていない場合 ["Salesforce システム管理者アカウント"](#)をクリックして作成します。
6. SaaS Backup が提供する Amazon S3 ストレージを使用するか、BYOS として Bring Your Own Storage (BYOS) オプションを使用するかを決定し、必要に応じて ["ストレージに関する情報を収集します"](#)。
7. に登録します ["SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルをご利用いただけます"](#) Salesforce アカウントまたはネットアップの SSO アカウントを使用している場合。
8. ["Salesforce サービスを設定します"](#)。
9. ["本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを追加します"](#)。
10. ["最初のバックアップのスケジュールを設定します"](#)。
11. 必要に応じて、["データをすぐにバックアップ"](#)。



無償トライアルの制限

無料トライアルアカウントには、次の制限事項が適用されます。

- 最大 1 つの本番インスタンス。
- 最大 1 つのサンドボックスインスタンス。
- 1 日に最大 3 つの即時バックアップを作成できます。
- 最初の 30 日間だけバックアップを自動化。
- 無償トライアル終了後の 15 日間の猶予期間中は、スケジュールされたバックアップは実行できません。

SaaS Backup for Salesforce の無償試用版へのアクティベーションコードの登録

SaaS Backup for Salesforce を使い始めるには、アクティベーションコードを取得してからサインアップする必要があります。営業担当者またはチャネルパートナーからアクティベーションコードを受け取っている可能性があります。有効化されていない場合は、無償トライアルにサインアップすることでアクティベーションコードを入手できません。

手順

1. をクリックします ["こちらをご覧ください"](#) をクリックして、SaaS Backup for Salesforce の無償トライアル URL にアクセスしてください。
2. 必要な登録情報を入力し、* Submit * をクリックします。

フォームを送信すると、無料試用版のアクティベーションコードが記載された電子メールが届きます。Salesforce で SaaS Backup にサインアップする際に、アクティベーションコードが必要になります。

Salesforce の無料開発者エディションアカウントにサインアップします

無料の Salesforce 開発者エディションアカウントを使用すると、Salesforce と SaaS Backup for Salesforce の最新機能をご確認いただけます。

手順

1. をクリックします ["こちらをご覧ください"](#) 無料の Salesforce 開発者エディションアカウントを開始します。
2. 必要な情報を入力し、利用規約に同意して、「* サインアップ *」をクリックしてサインアッププロセスを完了します。
3. メールアカウントに移動して確認し、新しいアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
4. 新しく作成した Salesforce 開発者アカウントでは、Lightning の体験とクラシックな体験を切り替えることができます。クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。

注：新しいアカウントには、サンプルのオブジェクトとレコードがあらかじめ登録されています。

Salesforce の無料サンドボックスアカウントにサインアップします

Salesforce サンドボックスアカウントを使用すると、本番環境に導入する前に、テスト環境で SaaS Backup for Salesforce の機能をテストできます。

手順

1. をクリックします ["こちらをご覧ください"](#) 無料の Salesforce サンドボックスアカウントを起動します。
2. 必要な情報を入力し、利用規約に同意して、「* サインアップ *」をクリックしてサインアッププロセスを完了します。
3. メールアカウントに移動して確認し、新しいサンドボックスアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
4. 新しく作成した Salesforce サンドボックスアカウントでは、Lightning の体験とクラシックな体験を切り替えることができます。クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。
5. [* Setup * (セットアップ*)] タブをクリックします。
6. 検索バーで「* Users *」を検索し、「* Users *」を選択します。ユーザープロファイル * システム管理者 * の名前は、このアカウントの電子メールです。
7. この電子メールを選択し、* パスワードをリセット * します。これは、サインアップではログインするための電子メールとパスワードが提供されないため、必須の手順です。
8. パスワードをリセットしたら、この電子メールとパスワードを使用してサンドボックスにログインできます。



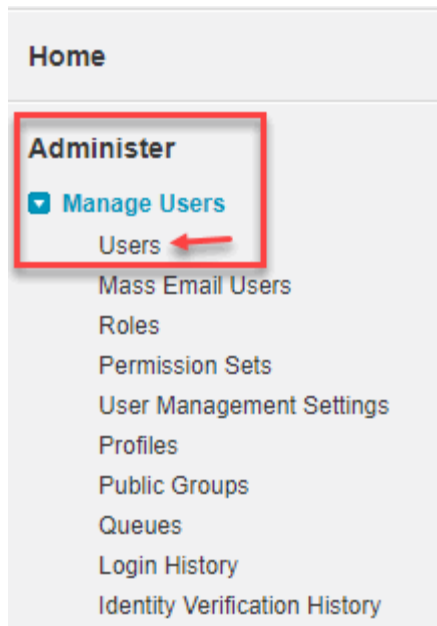
新しいアカウントには、サンプルのオブジェクトとレコードがあらかじめ入力されています。

Salesforce システム管理者アカウントを作成する

SaaS Backup for Salesforce にサインアップすると、既存の Salesforce システム管理者アカウントを使用するか、新しいアカウントを作成することができます。

手順

1. にログインします ["Salesforce の場合"](#) 既存のシステム管理者アカウントを使用します。
2. クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。
3. [* Setup * (セットアップ*)] タブをクリックします。
4. [Administer (管理)] で [Manage Users (ユーザーの管理)] をクリックし、[* Users (ユーザー)]



をクリックします。

5. [Users] の下にある [New User*] をクリックします。
6. 次のガイダンスに従って、必要な情報を入力します。
 - a. * Role * は空のままにしておきます。
 - b. [ユーザーライセンス *] で、[*Salesforce] を選択します。
 - c. 「* プロファイル」で「* システム管理者 *」を選択します。
 - d. 次の点を確認します。☒ チェックボックスがオンになっている"] マーケティング ☒ チェックボックスがオンになっている"] オフラインです ☒ チェックボックスがオンになっている"] サービスクラウド ☒ チェックボックスがオンになっている"] Salesforce CRM のコンテンツユーザ。
7. [保存 (Save)] をクリックします。
8. [* ユーザー *] で、新しく作成したアカウントをクリックし、[パスワードのリセット *] をクリックします。
9. メールアカウントに移動して確認し、新しいアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
10. にログインします "Salesforce の場合" 新しいアカウントのクレデンシャルを使用してアカウントをアクティブ化します。

Bring Your Own Storage (BYOS) オプションに関する情報を収集します

Amazon S3 を使用する場合は、サインアップ前に情報を収集する必要はありません。独自の Amazon S3 バケットを提供している場合は、サインアップの前にストレージに関する次の情報を収集する必要があります。

- バケット名
- 地域
- アクセスキー

- ・ シークレットキー

SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルに登録してください

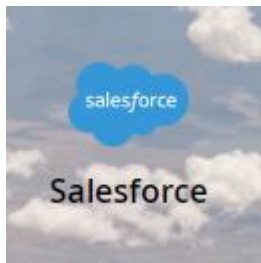
Salesforce またはネットアップの SSO アカウントを使用して、SaaS Backup に登録できます。

サインアッププロセスを完了するには、SaaS Backup ライセンスを購入したときにアクティベーションコードを提供するか、無料試用版にサインアップしたときに提供されたアクティベーションコードを入手する必要があります。

Salesforce を使用して SaaS Backup にサインアップする

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. ページの下部にある **[Signup** （サインアップ）] をクリックします。
3. 地域を選択します。
4. 利用規約を読み、同意します。
5. Salesforce をクリックします。



6. システム管理者権限を持つ Salesforce アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、* ログイン * をクリックします。
7. **[Allow]** をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。

Allow Access?

QA1 is asking to:

- Access your basic information
- Access and manage your data
- Provide access to your data via the Web
- Access and manage your Chatter data
- Provide access to custom applications
- Allow access to your unique identifier
- Access custom permissions
- Access and manage your Wave data
- Access and manage your Eclair data
- Perform requests on your behalf at any time

Do you want to allow access for
sfdccustom@gmail.com? (Not you?)

Deny

Allow

To revoke access at any time, go to your personal settings.

8. 登録フォームに必要事項を入力し、 [* サインアップ *] をクリックします。
9. [*Salesforce] をクリックします。
10. 試用版ライセンスをお持ちの場合は、 * Preview * をクリックして、アクティベーションコードを入力し、 * Next * をクリックします。
11. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

12. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、 * 接続テスト * をクリックします。

13. 「 * 次へ * 」をクリックします。
14. [保存（ Save ）] をクリックします。

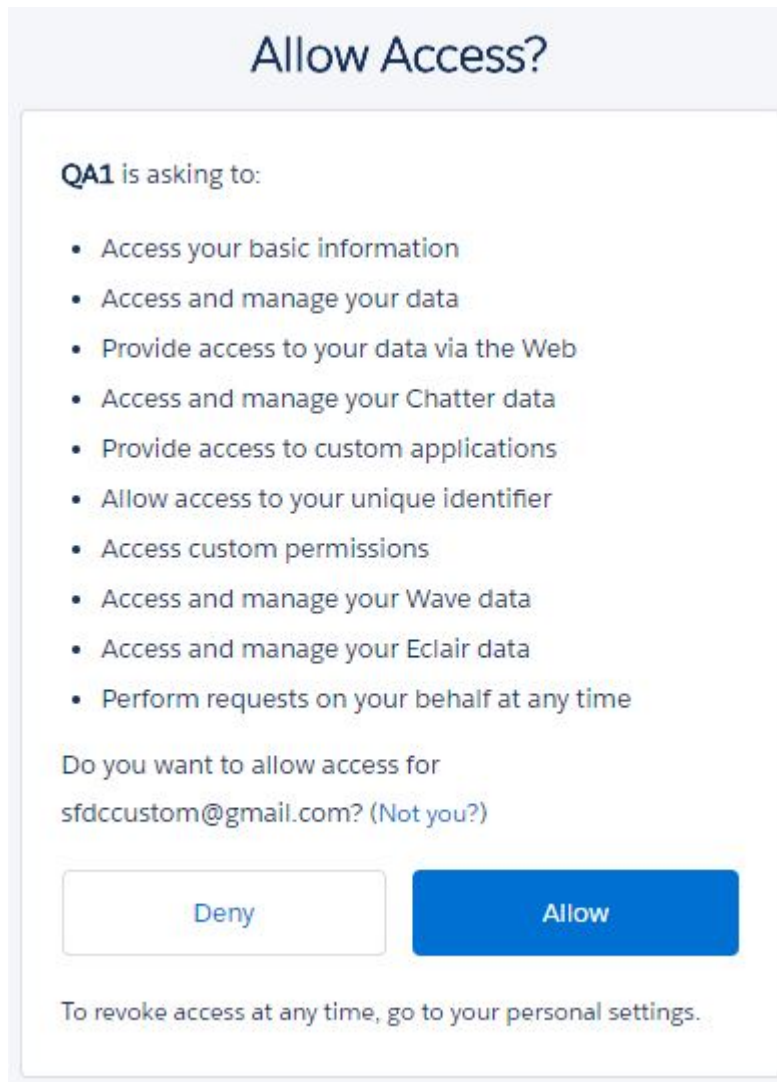
NetApp SSO を使用した SaaS Backup への登録

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. エンドユーザライセンス契約に同意します。
3. ページの下部にある **[Signup** (サインアップ)] をクリックします。
4. NetApp SSO をクリックします。



5. ネットアップの SSO とパスワードを入力し、 * login * をクリックします。
6. **[Allow]** をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。



7. 登録フォームに必要事項を入力し、 [* サインアップ *] をクリックします。
8. [*Salesforce] をクリックします。

9. 試用版ライセンスをお持ちの場合は、* Preview * をクリックして、アクティベーションコードを入力し、* Next * をクリックします。

10. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

11. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、* 接続テスト * をクリックします。


12. 「* 次へ *」をクリックします。

13. [保存（Save）] をクリックします。


Salesforce サービスを設定します

SaaS Backup for Salesforce に登録したら、Salesforce サービスを設定する必要があります。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします  SERVICES

2. をクリックします  サービスを追加します。

3. 
 [*Salesforce] を選択します。

4. サブスクリプションタイプを選択します。

5. アクティベーションコードを入力します。

6. バックアップ先を選択します。

7. 「* 次へ *」をクリックします。

8. [保存（Save）] をクリックします。

新しいプロダクションインスタンスまたはサンドボックスインスタンスの追加

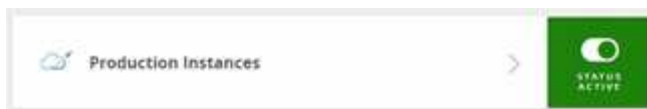
SaaS Backup for Salesforce を設定したら、新しい本番用インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを追加します。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  SERVICES

2. プロダクションインスタンスを追加する場合は、* プロダクションインスタンス * をクリックしま


す。



サンドボックスインスタンスを追加する場合は、

* サンドボックスインスタンス * をクリックします。



3. 右上にある青いアイコンをクリックします  新しいインスタンスを追加します。
4. [組織の追加 *] で、[送信 *] をクリックします。
5. システム管理クレデンシャルを入力してインスタンスを追加します。本番環境用組織は、自動的に階層 1 のバックアップポリシーに追加され、即時バックアップがスケジュールされます。

バックアップのスケジュール設定またはバックアップ頻度の変更

SaaS Backup for Salesforce でサンドボックスインスタンスを追加すると、デフォルトでは、サンドボックス内のすべてのデータが保護されたバックアップ階層に手動で移動するまで保護されません。サンドボックスインスタンスまたは本番環境インスタンスのデータを保護した後は、いつでも別のバックアップ階層に移動できます。

手順

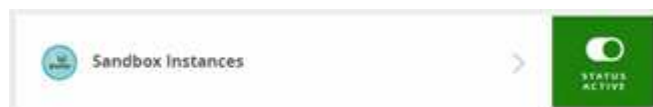
1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。



2. プロダクションインスタンス内の組織を移動する場合は、* プロダクションインスタンス * をクリックします。



サンドボックスインスタンスで組織を移動する場合は、[* サンドボックスインスタンス *] をクリックします。



3. 移動する組織に適したインスタンスカテゴリを選択します。
 - 移動する組織が現在バックアップポリシーで保護されている場合は、上記の * 保護インスタンス * の数をクリックします。
 - 移動する組織のバックアップステータスが保留中の場合は、上記の * 保留中インスタンス * をクリックします。
 - 移動する組織が現在バックアップポリシーで保護されていない場合は、上記の * 保護されていないインスタンス * をクリックします。
4. 新しい階層を選択します。サンドボックスインスタンスでは、ティア 2 とティア 3 のバックアップのみを使用できます。サンドボックスインスタンスは、階層 1 のポリシーに基づいてバックアップすることはできません。本番インスタンスは、階層 1 ポリシーに含めることも、保護しないこともできます。本番環境インスタンスは、階層 2 または階層 3 のポリシーに基づいてバックアップすることはできません。組織が

新しいバックアップ階層に移動されます。


即時バックアップを実行する

データ保護に必要と判断した場合は、本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスのバックアップをすぐに実行できます。



SaaS Backup for Salesforce の試用版では、1 日に 3 回の即時バックアップしか実行できません。

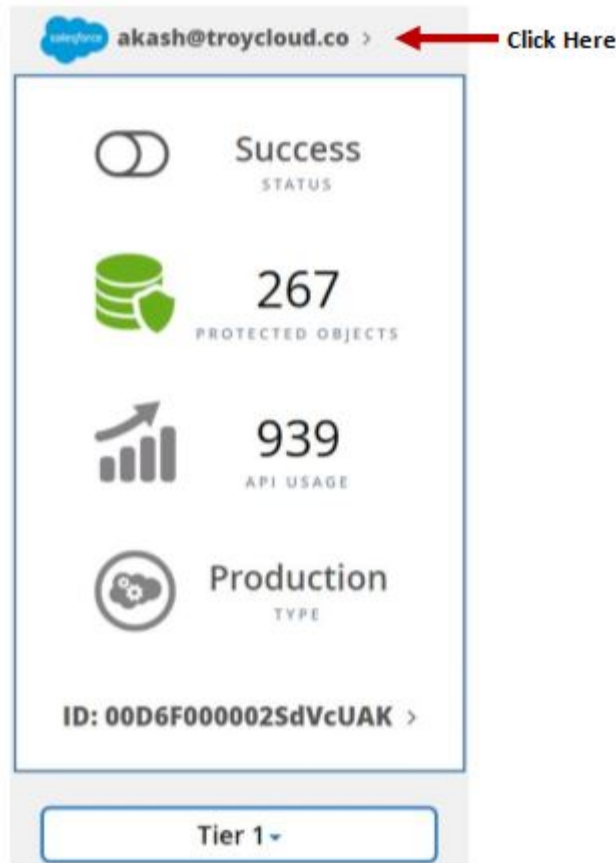
手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  SERVICES
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま

す。



3. 今すぐバックアップする正しいインスタンスを選択してください。
 - a. バックアップするインスタンスがバックアップポリシーで現在保護されている場合は、上記の * 保護されているインスタンス * をクリックします。
 - b. バックアップするインスタンスのバックアップ・ステータスが保留中の場合は、上記の * 保留中インスタンス * をクリックします。
 - c. バックアップポリシーによって現在保護されていないインスタンスがある場合は、上記の * 保護されていないインスタンス * をクリックします。
- 4.




組織の名前をクリックします。

5. [今すぐバックアップ] をクリックします。選択した組織がバックアップキューに配置されていることを示すメッセージが表示されます。
6. [Submit (送信)] をクリックします。

無償トライアルからアップグレードしています

無償トライアルからアップグレードするには、有料サブスクリプションで発行されたシリアル番号が必要です。

手順

1. 。
ダッシュボードの左上で、をクリックします。
2. [サービス設定 *] で、[*Salesforce] を選択します。
3. [サブスクリプションの詳細 *] の横にある [*更新 *] をクリックします。
4. 「* NetApp License *」を選択します。
5. ライセンスのユーザ名、パスワード、およびシリアル番号を入力します。
6. [*サブスクリプションの検証 *] をクリックします。ライセンス情報の確認が表示されます。

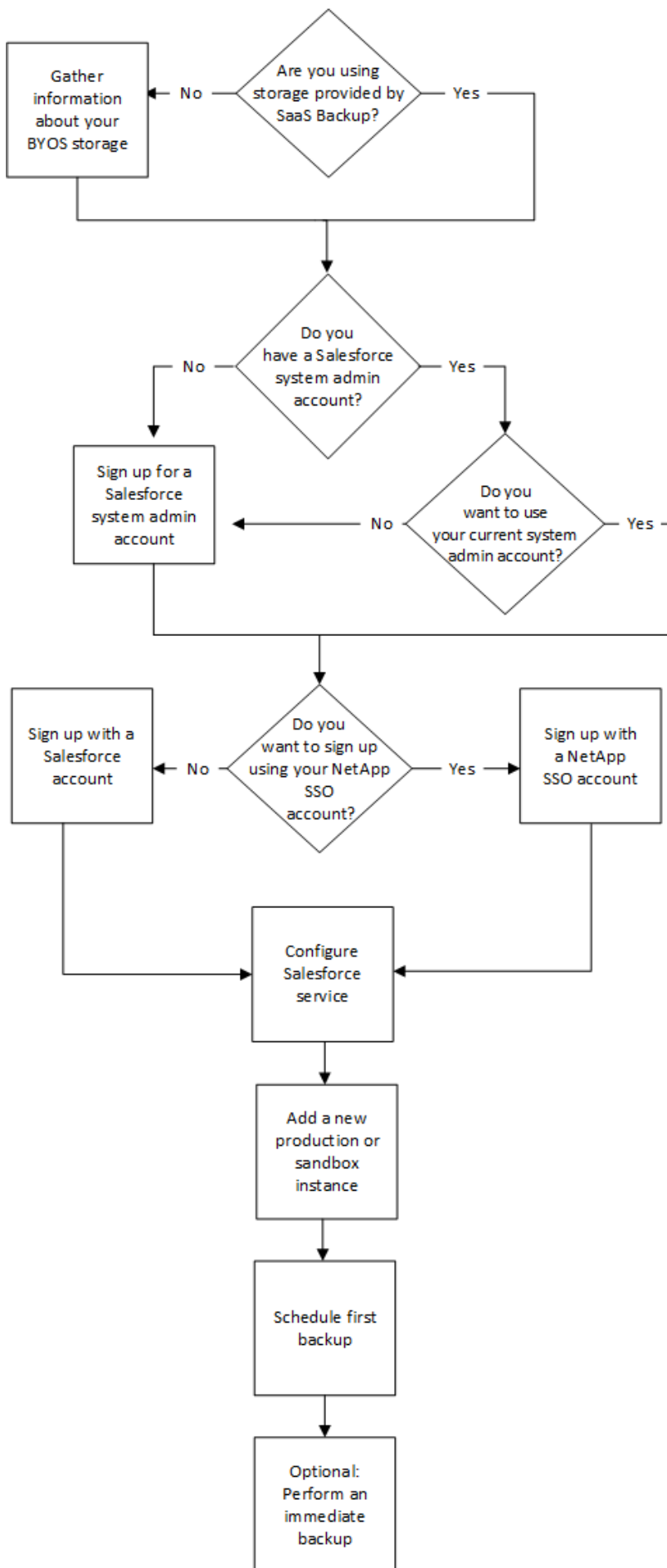
有料購読の開始

SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプションを開始するためのワークフロー

SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプションを開始するには、次の手順を実行する必要があります。

手順

1. アクティベーションコードを用意します。
2. SaaS Backup が提供する Amazon S3 ストレージを使用するか、BYOS として Bring Your Own Storage (BYOS) オプションを使用するかを決定し、必要に応じて ["ストレージに関する情報を収集します"](#)。
3. をまだ持っていない場合 ["Salesforce システム管理者アカウント"](#)をクリックして作成します。
4. に登録します ["SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプション"](#) Salesforce アカウントまたはネットアップの SSO アカウントを使用している場合。
5. ["Salesforce サービスを設定します"](#)。
6. ["本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを追加します"](#)。
7. ["最初のバックアップのスケジュールを設定します"](#)。
8. 必要に応じて、["データをすぐにバックアップ"](#)。



Bring Your Own Storage （ BYOS ） オプションに関する情報を収集します

Amazon S3 を使用する場合は、サインアップ前に情報を収集する必要はありません。独自の Amazon S3 バケットを提供している場合は、サインアップの前にストレージに関する次の情報を収集する必要があります。

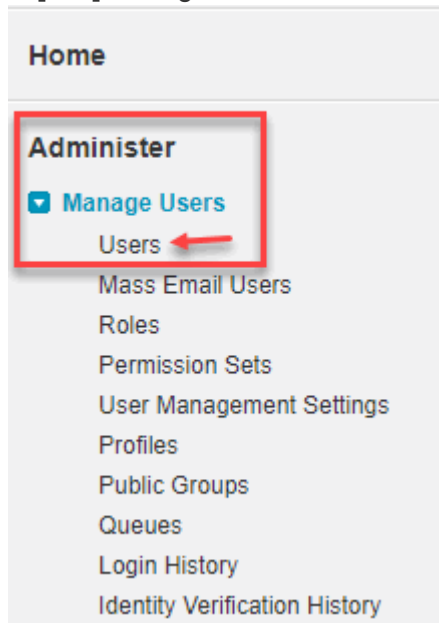
- バケット名
- 地域
- アクセスキー
- シークレットキー

Salesforce システム管理者アカウントを作成する

SaaS Backup for Salesforce にサインアップすると、既存の Salesforce システム管理者アカウントを使用するか、新しいアカウントを作成することができます。

手順

1. にログインします **"Salesforce の場合"** 既存のシステム管理者アカウントを使用します。
2. クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。
3. [* Setup * （セットアップ*）] タブをクリックします。
4. **[Administer （管理）]** で **[Manage Users （ユーザーの管理）]** をクリックし、[* Users （ユーザー）]



をクリックします。

5. **[Users]** の下にある **[New User*]** をクリックします。
6. 次のガイダンスに従って、必要な情報を入力します。
 - a. * Role * は空のままにしておきます。
 - b. [ユーザーライセンス *] で、[*Salesforce] を選択します。
 - c. 「* プロファイル」で「* システム管理者 *」を選択します。

d.

次の点を確認します。 ☒ チェックボックスがオンになっている"] マーケティング ☒ チェックボックスがオンになっている"] オフラインです ☒ チェックボックスがオンになっている"] サービスクラウド ☒ チェックボックスがオンになっている"] Salesforce CRM のコンテンツユーザ。

7. [保存 (Save)] をクリックします。
8. [* ユーザー *] で、新しく作成したアカウントをクリックし、[パスワードのリセット *] をクリックします。
9. メールアカウントに移動して確認し、新しいアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
10. にログインします "Salesforce の場合" 新しいアカウントのクレデンシャルを使用してアカウントをアクティブ化します。

SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプションへの登録

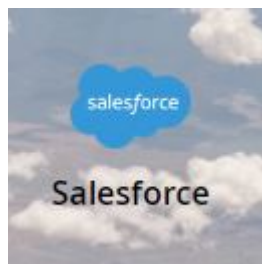
SaaS Backup with Salesforce の有料サブスクリプションに登録するか、ネットアップの SSO アカウントで登録できます。

サインアッププロセスを完了するには、SaaS Backup ライセンスを購入したときにシリアル番号が提供されているか、無償トライアル版にサインアップしたときに提供されたアクティベーションコードが必要です。

Salesforce を使用して SaaS Backup にサインアップする

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. ページの下部にある [Signup (サインアップ)] をクリックします。
3. 地域を選択します。
4. 利用規約を読み、同意します。
5. Salesforce をクリックします。



6. システム管理者権限を持つ Salesforce アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、* ログイン * をクリックします。
7. [Allow] をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。

Allow Access?

QA1 is asking to:

- Access your basic information
- Access and manage your data
- Provide access to your data via the Web
- Access and manage your Chatter data
- Provide access to custom applications
- Allow access to your unique identifier
- Access custom permissions
- Access and manage your Wave data
- Access and manage your Eclair data
- Perform requests on your behalf at any time

Do you want to allow access for
sfdccustom@gmail.com? (Not you?)

Deny

Allow

To revoke access at any time, go to your personal settings.

8. 登録フォームに必要事項を入力し、 [* サインアップ *] をクリックします。

9. [* Salesforce] をクリックします。

有料サブスクリプションをお持ちの場合は、 [* ライセンス済み *] をクリックします。ユーザー名、パスワード、ライセンスのシリアル番号を入力し、 [サブスクリプションの検証] をクリックします。

10. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

11. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、 * 接続テスト * をクリックします。

12. 「 * 次へ * 」をクリックします。

13. [保存（Save）] をクリックします。

NetApp SSO を使用した SaaS Backup への登録

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. エンドユーザライセンス契約に同意します。
3. ページの下部にある **[Signup** (サインアップ)] をクリックします。
4. NetApp SSO をクリックします。



5. ネットアップの SSO とパスワードを入力し、* login * をクリックします。
6. **[Allow]** をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。

Allow Access?

QA1 is asking to:

- Access your basic information
- Access and manage your data
- Provide access to your data via the Web
- Access and manage your Chatter data
- Provide access to custom applications
- Allow access to your unique identifier
- Access custom permissions
- Access and manage your Wave data
- Access and manage your Eclair data
- Perform requests on your behalf at any time

Do you want to allow access for
sfdccustom@gmail.com? (Not you?)

Deny

Allow

To revoke access at any time, go to your personal settings.

7. 登録フォームに必要事項を入力し、[* サインアップ *] をクリックします。

8. [*Salesforce] をクリックします。

有料サブスクリプションをお持ちの場合は、[* ライセンス済み *] をクリックします。ユーザー名、パスワード、ライセンスのシリアル番号を入力し、[サブスクリプションの検証] をクリックします

9. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

10. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、* 接続テスト * をクリックします。

11. 「 * 次へ * 」 をクリックします。

12. [保存（ Save ）] をクリックします。


即時バックアップを実行する

データ保護に必要と判断した場合は、本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスのバックアップをすぐに実行できます。

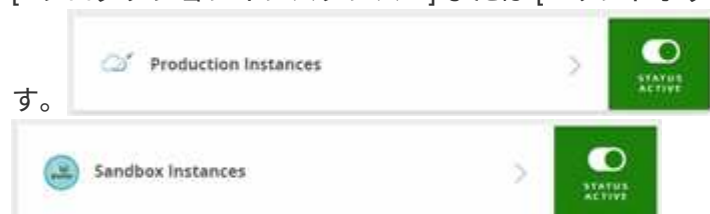


SaaS Backup for Salesforce の試用版では、1 日に 3 回の即時バックアップしか実行できません。

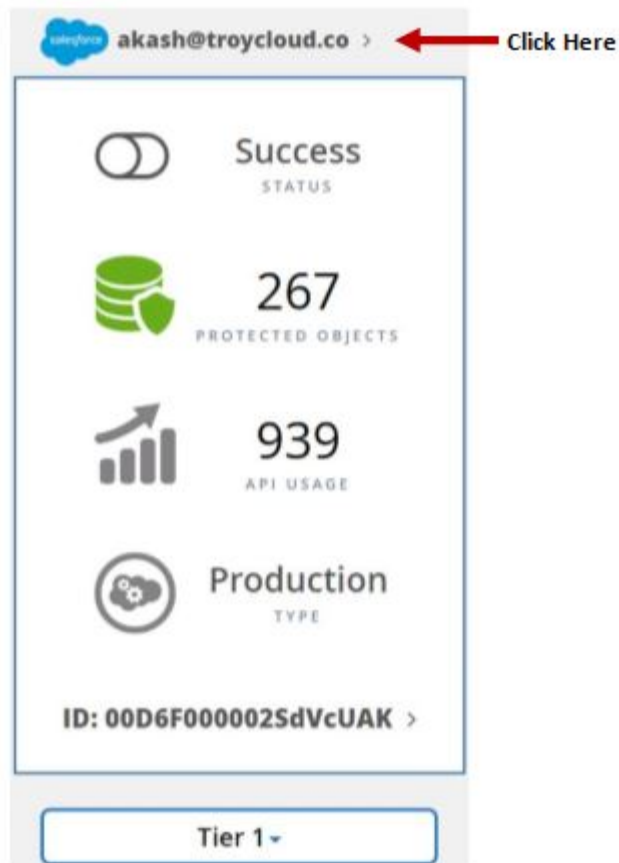
手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  SERVICES
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま

す。



3. 今すぐバックアップする正しいインスタンスを選択してください。
 - a. バックアップするインスタンスがバックアップポリシーで現在保護されている場合は、上記の * 保護されているインスタンス * をクリックします。
 - b. バックアップするインスタンスのバックアップ・ステータスが保留中の場合は、上記の * 保留中インスタンス * をクリックします。
 - c. バックアップポリシーによって現在保護されていないインスタンスがある場合は、上記の * 保護されていないインスタンス * をクリックします。
- 4.



組織の名前をクリックします。

5. [今すぐバックアップ] をクリックします。選択した組織がバックアップキューに配置されていることを示すメッセージが表示されます。
6. [Submit（送信）] をクリックします。

SaaS Backup for Salesforce の管理

バックアップポリシー

SaaS Backup for Salesforce には、事前定義された 3 つのバックアップポリシー階層があります。これらのポリシー階層はバックアップの頻度とデータ保持期間によって異なります。本番インスタンスは、階層 1 ポリシーでのみ保護できます。サンドボックスインスタンスは、階層 2 および階層 3 のポリシーで保護できます。

「アクティブ」ステータスのバックアップポリシーは、バックアップ用に割り当てられた項目のポリシーです。ステータスが「非アクティブ」のバックアップポリシーには、バックアップ対象として割り当てられた項目がありません。

バックアップポリシー	バックアップ頻度	デフォルトのデータ保持期間	保護に利用できます
ティア 1	12 時間に 1 回	3 年	本番インスタンス
ティア 2	18 時間に 1 回	2 年	サンドボックスインスタンス
ティア 3	24 時間に 1 回	2 年	サンドボックスインスタンス
保護なし	バックアップされていません	バックアップされていません	本番インスタンスとサンドボックスインスタンス

即時バックアップを実行する

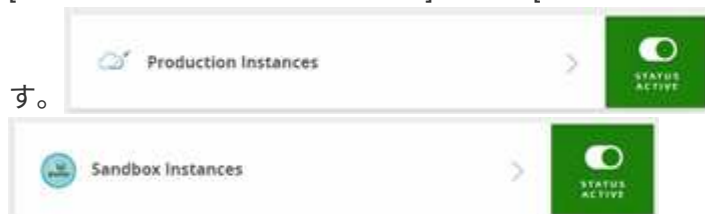
データ保護に必要と判断した場合は、本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスのバックアップをすぐに実行できます。



SaaS Backup for Salesforce の試用版では、1 日に 3 回の即時バックアップしか実行できません。

手順

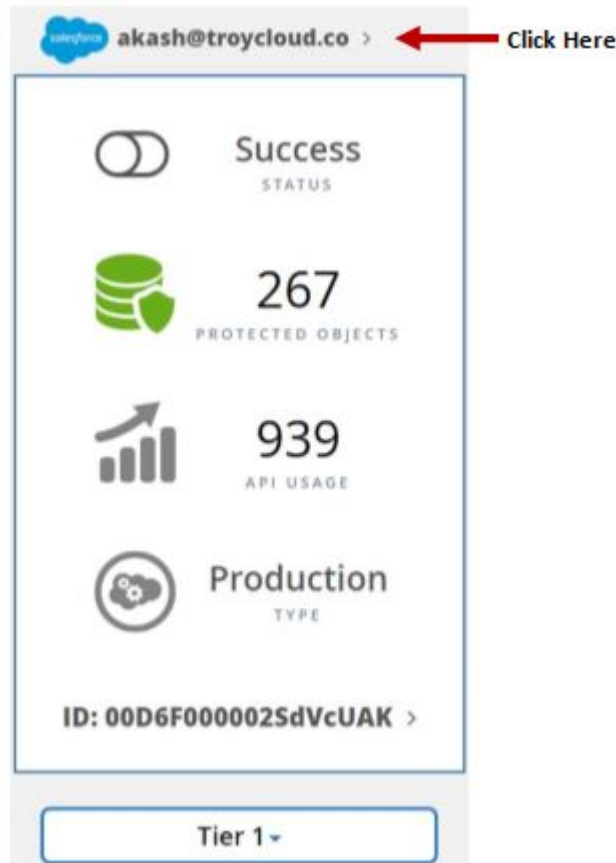
1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま



3. 今すぐバックアップする正しいインスタンスを選択してください。
 - a. バックアップするインスタンスがバックアップポリシーで現在保護されている場合は、上記の * 保護されているインスタンス * をクリックします。

- b. バックアップするインスタンスのバックアップ・ステータスが保留中の場合は、上記の * 保留中インスタンス * をクリックします。
- c. バックアップポリシーによって現在保護されていないインスタンスがある場合は、上記の * 保護されていないインスタンス * をクリックします。

4.



組織の名前をクリックします。

5. [今すぐバックアップ] をクリックします。選択した組織がバックアップキューに配置されていることを示すメッセージが表示されます。
6. [Submit (送信)] をクリックします。

メタデータバックアップの有効化と無効化

Salesforce のメタデータバックアップを有効または無効にできます。

メタデータのバックアップの有効化

メタデータのバックアップを有効にすると、テナントアカウント内のすべての組織にメタデータのバックアップが提供されます。

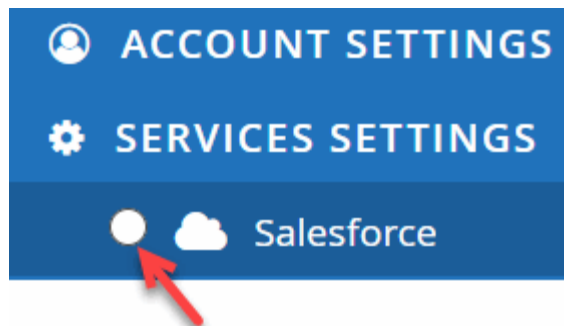
手順

1.

をクリックします



[サービス設定] で [*Salesforce] を選択します。



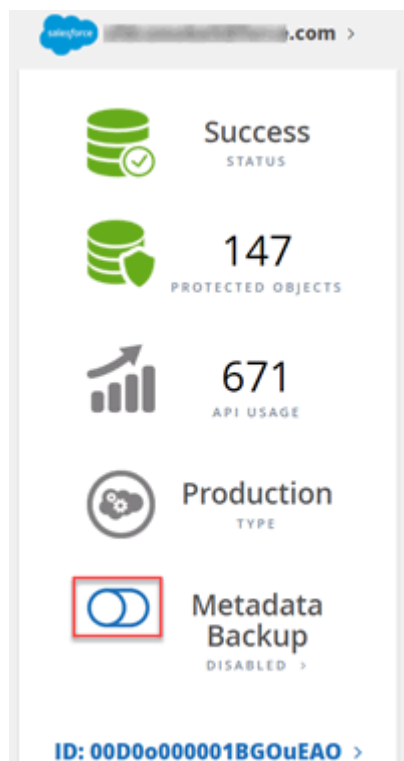
2. 「* メタデータバックアップを有効にする *」をクリックして、機能をオンにします。テナントレベルで有効にすると、すべての組織のメタデータがバックアップされます。

メタデータのバックアップを無効にする

メタデータのバックアップは、組織レベルで無効にすることができます。すべての組織でメタデータのバックアップを有効にすると、メタデータのバックアップを作成しない組織を制御できるようになります。

手順

1. メタデータのバックアップを無効にするには、「* サービス *」を参照してください。
2. [本番インスタンス *] または [サンドボックスインスタンス *] を選択します。
3. 保護された * インスタンスの数を選択します。
4. メタデータのバックアップを無効にする組織を選択します。
5. 「* Metadata Backup *」をクリックして機能をオフにします。




データを復元しています

SaaS Backup for Salesforce を使用して、以前にバックアップしたデータとメタデータをリストアできます。

最新のバックアップをリストアしています

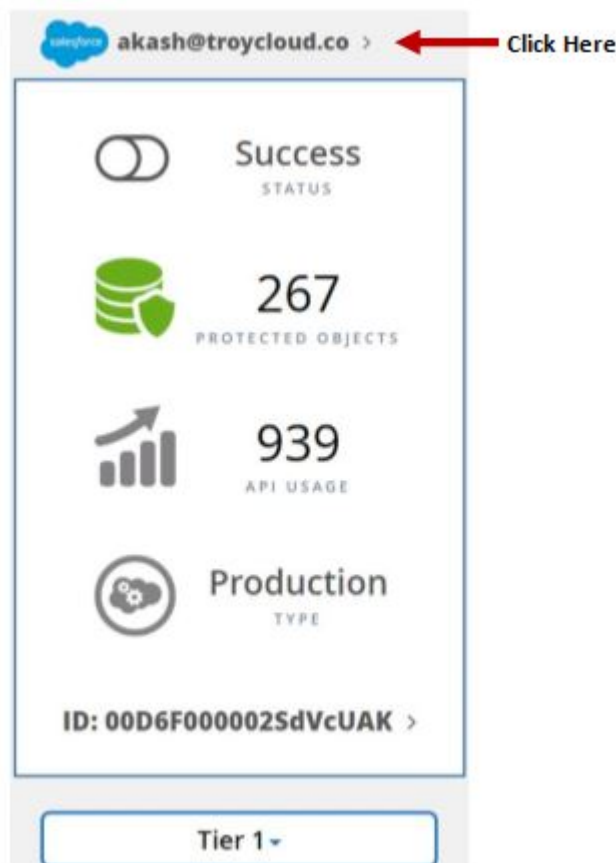
手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  SERVICES
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま

す。



3. [保護されたインスタンスの数] をクリックします。
- 4.



組織の名前をクリックします。

オブジェクトのリストが表示されます。リカバリ可能なオブジェクトは、デフォルトで表示されます。リカバリできないオブジェクトを表示するには、「リカバリできないオブジェクトを含める」を選択します。リカバリ不可能なオブジェクトはグレーのアイコンで示されます。赤のアイコンは、現在のバックアップでバックアップに失敗したものの、以前のバックアップではリカバリできないオブジェクトを表します。

リカバリ可能なオブジェクト	
リカバリ不能なオブジェクト	
障害オブジェクト	

1. リストアする個々のレコードを含むオブジェクトをクリックし、特定のレコードを検索します。

2.

[* リストア] をクリックします。



3. リストアオプションを選択します。

- * デフォルトでは、[上書きで復元] が選択されています。このオプションは、復元するレコードの既存のバージョンを置き換えます。レコードの現在のバージョンと復元されたバージョンのレコードを保持する場合は、このオプションの選択を解除します。
- * リストア関係 * では、親レコードの子を最大 5 レベルまで復元します。関係をリストアするように選択しない場合は、親レコードのみがリストアされます。
- * データのエクスポート * を使用すると、特定の時点でバックアップからデータをエクスポートできます。データは、オブジェクトレベルまたは組織レベルでエクスポートできます。データへのエクスポート機能の詳細については、[を参照してください "エクスポートデータをダウンロードしています"](#)。



エクスポートジョブは、完了後 7 日間のみ使用できます。

4.

[Submit (送信)] をクリックします。



以前のバックアップからのリストア

手順

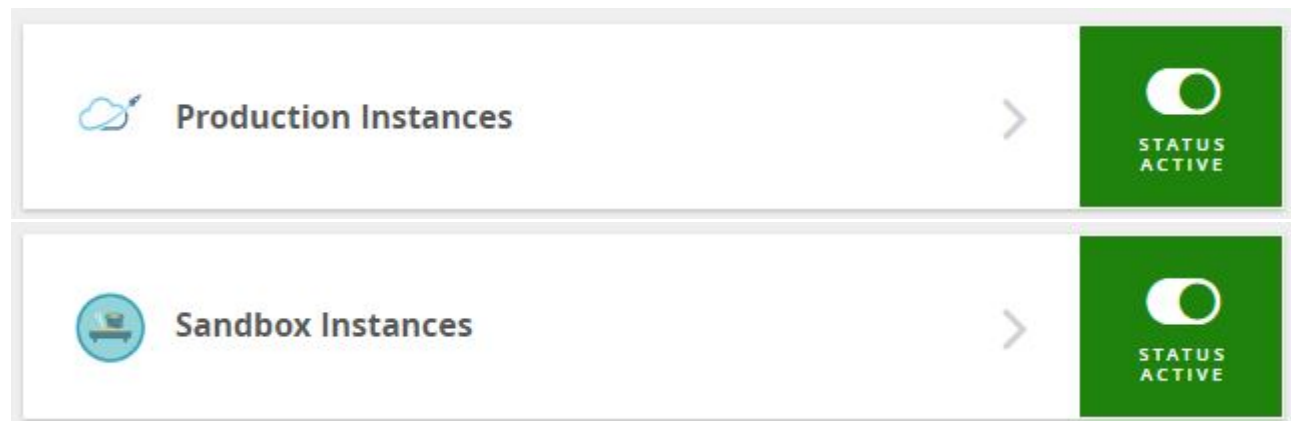
1.

左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。



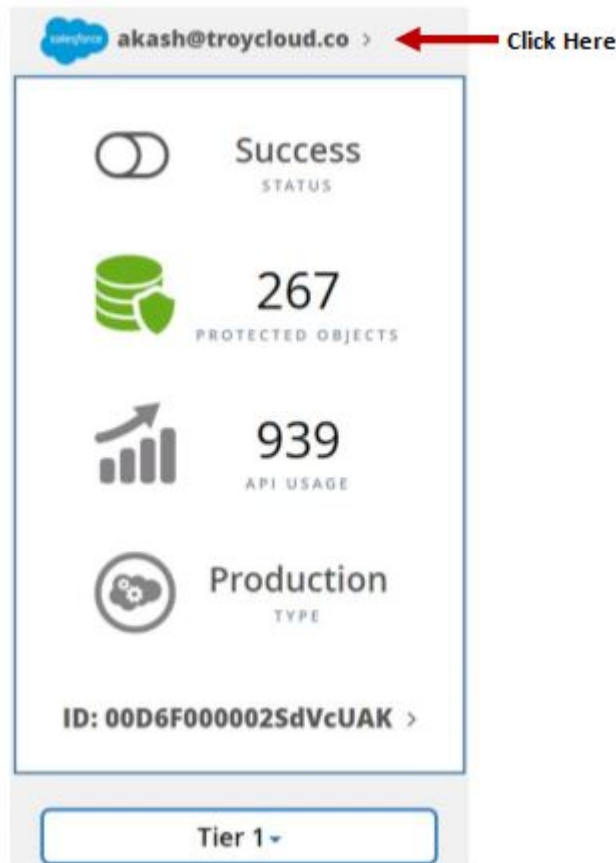
SERVICES

2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックします。



3. [保護されたインスタンスの数] をクリックします。

4.



組織の名前をクリックします。

5. [* バックアップ履歴の表示 *] をクリックします。

6. 特定の期間のバックアップを表示するか、特定の日付のバックアップを選択する場合に選択します。

- a. 特定の期間のバックアップを選択するには、右上にある「選択したバックアップを表示」の横にあるドロップダウンメニューをクリックし、定義済みの日数の範囲のいずれかを選択します。

Show Selected Backups ▾

す。選択した範囲内で発生したバックアップのリストが表示されます。

- b. 特定の日付のバックアップを選択するには、カレンダーでバックアップの日付をクリックし、目的のバックアップを選択します。赤い丸の数字は、その日に実行されたバックアップの数を示します。個々の緑の丸は、個々のバックアップを示します。

7. リストアする個々のレコードを含むオブジェクトをクリックし、特定のレコードを検索します。

8.

Restore

[* リストア] をクリックします。

9. リストアオプションを選択します。

- a. * デフォルトでは、[上書きで復元] が選択されています。このオプションは、復元するレコードの既存のバージョンを置き換えます。レコードの現在のバージョンと復元されたバージョンのレコードを保持する場合は、このオプションの選択を解除します。
- b. * リストア関係 * では、親レコードの子を最大 5 レベルまで復元します。関係をリストアするように選択しない場合は、親レコードのみがリストアされます。

- c. * データのエクスポート * を使用すると、特定の時点でバックアップからデータをエクスポートできます。データは、オブジェクトレベルまたは組織レベルでエクスポートできます。データへのエクスポート機能の詳細については、を参照してください ["エクスポートデータをダウンロードしています"](#)。



エクスポートジョブは、完了後 7 日間のみ使用できます。

10. [Submit（送信）] をクリックします。選択した組織がジョブキューに配置されていることを示すメッセージが表示されます。

メタデータをリストアしています

メタデータは、組織レベルまたは詳細レベルでリストアできます。

組織レベルのメタデータをリストアします

手順

1. 「* サービス *」に移動します。
2. [本番インスタンス *] または [サンドボックスインスタンス *] を選択します。
3. 保護された * インスタンスの数をクリックします。
4. 組織の名前をクリックします。
5. [* リストア] をクリックします。
6. リストアオプションを選択します。
 - a. メタデータをエクスポートするには、* メタデータのエクスポート * を選択します。zip ファイルが作成されます。



エクスポートメタデータジョブは、完了後 30 日間使用できます。

- b. メタデータを復元するには、* メタデータの復元 * を選択します。

7. [Submit（送信）] をクリックします。

きめ細かなメタデータのリストア

手順

1. 「* サービス *」に移動します。
2. [本番インスタンス *] または [サンドボックスインスタンス *] を選択します。
3. 保護された * インスタンスの数をクリックします。
4. 組織の名前をクリックします。
5. [メタデータの種類とコンポーネント] タブをクリックします。メタデータタイプのリストが表示されます。
6. リストアするメタデータタイプを選択します。
7. [* リストア] をクリックします。
8. リストアオプションを選択します。

? RESTORE OPTION:



- a. メタデータをエクスポートするには、* メタデータのエクスポート * を選択します。zip ファイルが作成されます。



エクスポートメタデータジョブは、完了後 30 日間使用できます。


- b. メタデータを復元するには、* メタデータの復元 * を選択します。



9. [Submit (送信)] をクリックします。


バックアップの違いを比較およびリストアする

SaaS Backup for Salesforce を使用して、バックアップの違いを比較してリストアできます。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* ジョブ * をクリックします。
2. 「最近完了したジョブ」で、バックアップと比較するオブジェクトを含むバックアップを選択します。
3. 組織をクリックします。
4. バックアップと比較するオブジェクトを選択します。
5. 比較アイコンをクリックします。

OBJECT ID	OBJECT NAME	API USAGE	BACKUP CHANGES	TYPE	ACTION	BACKUP STATUS
ObjectTest__c	ATestObject	4	0	Custom		

6. [前回のバックアップ] の横で、比較に使用するバックアップの最初の日付を選択します。
7. [現在のバックアップ] の横で、比較に使用するバックアップの 2 番目の日付を選択します。
8. [COMPARE] をクリックします。 ボタン"]



選択した 2 つのバックアップに違いがない場合、比較ジョブは作成されません。

9. [* ジョブの進捗状況の表示 *] をクリックします。

ジョブが完了すると、「最近完了したジョブ」の下に表示されます。

- 10.



組織数または成功数をクリックします。

ウィンドウが開き、ジョブのステータスが表示されます。

compare Job: All Organizations
Total: 1 X

Job Id: 7e4eaab4-5329-f1ea-4a27-ef5e0f321618

#	Object Name	Status	% Completion	Created	Updated	Deleted	Message
1	Account	Successful	100	0	0	2	Compare job completed

Close

ウィンドウ"]

11. オブジェクト名をクリックすると結果が表示されます。比較ジョブの概要が、選択した 2 つのバックアップ間にオブジェクトで作成、更新、および削除されたレコードの数とともに表示されます。比較ジョブの詳細をダウンロードできます。

a.

比較ジョブの詳細をダウンロードするには、をクリックします



b. ファイルを解凍して結果を確認します。

12. [* リストア] をクリックします。

13. 更新されたすべてのレコードを復元するには、「* Updated *」を選択します。削除されたレコードをすべて復元するには、「削除済み」を選択します。オプションが使用可能な場合は、両方を選択することもできます。

14. [SUMBIT] をクリックします。

ジョブは上書きされず、関係もなくリストアされます。

データとメタデータをパージしています

Salesforce 組織からデータを消去できます。組織レベルでのデータの消去は、* アカウント設定 * で管理されます。

メタデータの保持とパージは、SaaS Backup for Salesforce によって自動的に管理されます。メタデータは 90 日間保持されます。90 日が経過すると、メタデータはパージされます。



データをパージする


未使用の Salesforce 組織など、特定の組織からデータを消去するオプションは常にあります。

データをパージして本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを更新できます。

別の本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを追加することもできます。そのためには、本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスをパージする必要があります。

手順

1.  をクリックします  をクリックします。
2. [* Retain and Purge] をクリックします。
3. 「* Retain and Purge *」で、「* Purge Data *」までスクロールします。
4. [プロバイダのタイプ]と[サービス名]を選択します。
5. 組織 ID を検索または選択します。
6. [保存 (Save)] をクリックします。パージを確認またはキャンセルするためのメッセージが表示されます。
7. 「* はい *」をクリックしてパージを確定します。[はい]をクリックすると 'パージされたデータを最大 7 日間リカバリできます'
8. [* パージされたリストを表示 *] をクリックして、スケジュールされたパージのリストを表示します。

Purged List 


ITEM NAME	SERVICE TYPE	DAYS LEFT	PURGED DATE	STATUS
<input type="text" value="Filter By Email / URL"/>	<input type="text" value="All"/>			<input type="text" value="All"/>
00D0o000001BGOuEAO	Salesforce	7 days	October 21, 2020, 05:27:22 PM	To be Purged

Cancel

再認証中です

Salesforce では、資格情報を再認証する前に、最大 5 つのトークンを使用できます。バックアップまたは復元を開始しようとしたときに、すべてのトークンが使用されていた場合は、「expired access/refresh token」というエラーメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合は、次に進む前に再認証する必要があります。


手順

1. 
ダッシュボードの左上で、をクリックします。

2. [サービス設定 *] で、 [*Salesforce] を選択します。
3. [* アクセス許可の付与 *] をクリックします。



アイコン"]

4. 再認証する必要があるインスタンスを選択するには、 [* producting] または [* sandbox *] タブをクリックします。
5.  をクリックします。

認証情報を入力する **Salesforc** にリダイレクトされます。再認証が完了したら、バックアップジョブまたはリストアジョブを開始できます。

ジョブをキャンセルしています

バックアップまたはリストアをすぐにキャンセルすることができます。スケジュールされたバックアップをキャンセルすることはできません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで [* ジョブ] をクリックします。
2. 「最近実行したジョブ」で、キャンセルするジョブを探します。
3. [キャンセル (Cancel)] をクリックします。

データを表示する

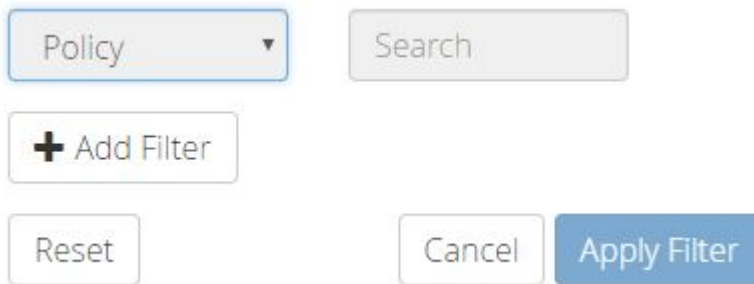
ジョブ履歴を表示します

ジョブ履歴を表示します

SaaS Backup for Salesforce で、完了、キャンセル、または失敗したすべてのジョブのリストを表示できます。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* Reporting * をクリックします。  **REPORTING** ジョブ履歴が表示されます。
2. 右上隅の * フィルター * をクリックします。 
3. レポート結果の絞り込みに使用するフィルタを選択します。バックアップポリシー、サービス、またはジョブタイプでフィルタリングできます。
4. [* 検索] ボックス内をクリックし、結果を表示する特定のバックアップ・ポリシー、サービス、またはジョブ・タイプを選択します。必要に応じてフィルタを追加しま





す。

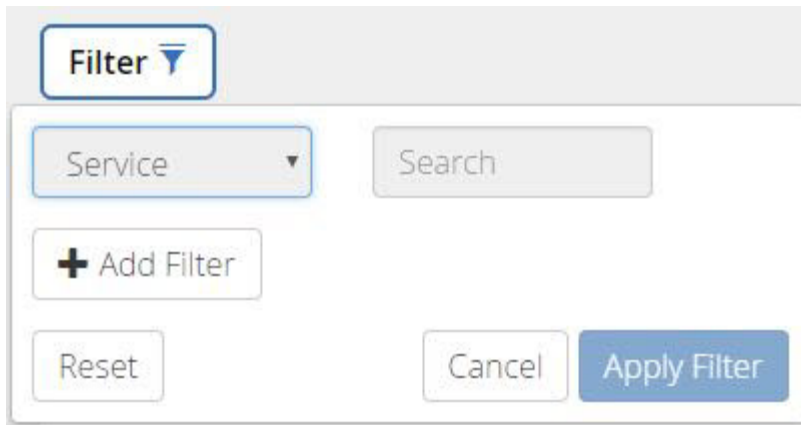
5. [フィルタを適用 (Apply Filter)] をクリックする。

アクティビティログの表示

SaaS Backup for Salesforce 内で実行されたすべてのアクティビティのリストを表示できます。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* Reporting * をクリックします。  **REPORTING**
2. [* アクティビティログ *] をクリックします。
3. 結果を絞り込むには、* フィルター * をクリックします。 
4. レポート結果の絞り込みに使用するフィルタを選択します。サービスまたはイベントでフィルタできま



す。

5. [* 検索 *] ボックス内をクリックし、結果を表示する特定のサービスまたはイベントを選択します。必要に応じてフィルタを追加します。
6. [フィルタを適用 (Apply Filter)] をクリックする。

アクティビティログのダウンロード

アクティビティログは .csv ファイルにダウンロードできます。

手順


1.
左ペインのナビゲーションで、* Reporting * をクリックします。  **REPORTING**
2. [* アクティビティログ *] をクリックします。
3.
[* ダウンロード] をクリックします。  アクティビティログは .csv ファイルとしてダウンロードされます。

エクスポートデータをダウンロードしています

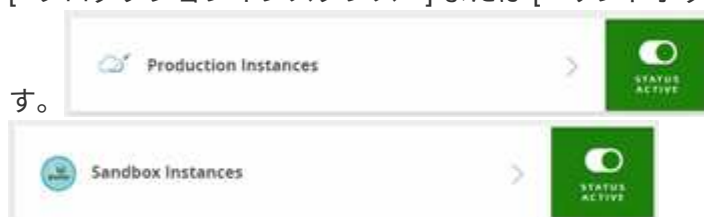
データはオブジェクトレベルおよび組織レベルでエクスポートできます。エクスポートごとに、以前のバックアップから添付ファイル、結果、統計情報をダウンロードできます。

オブジェクトレベルのエクスポート

手順

1.
左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  **SERVICES**
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま

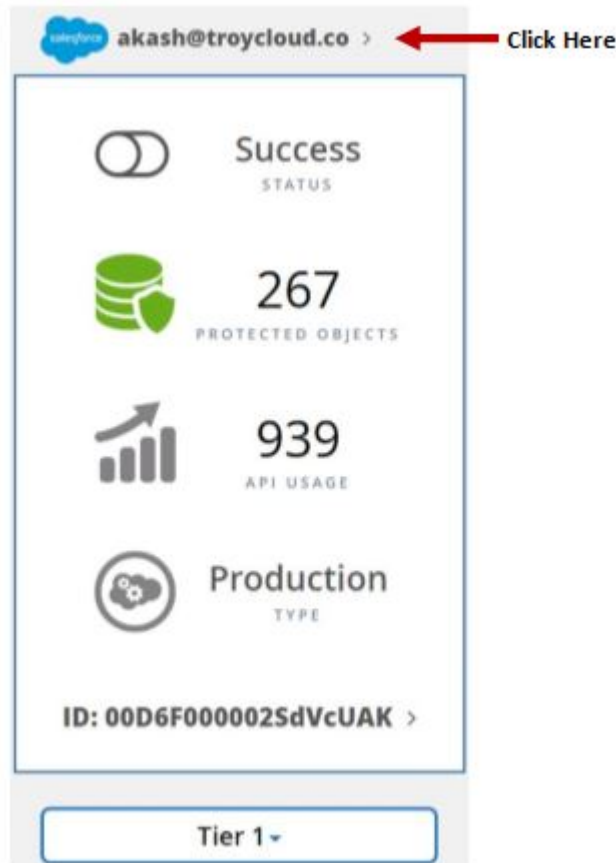
す。



3. [保護されたインスタンスの数] をクリックしま



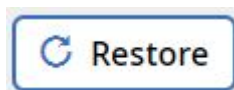
4.



組織の名前をクリックします。

5.

エクスポートするオブジェクトを選択し、 * リストア * をクリックします。



6. 必要に応じて、 [* 関係の復元 *] または [* ファイル / 添付ファイルの復元 *] を選択してエクスポートに含めます。



[* 関係のリストア *] を選択すると、選択したオブジェクトとそのすべての関係オブジェクトがジョブによってエクスポートされます。[関係のリストア *] を選択しない場合、ジョブは選択したオブジェクトのみをエクスポートします。

7. [Submit (送信)] をクリックします。

8. 左側のペインで [* Jobs] をクリックして、リストア・ジョブを表示します。

9. [合計オブジェクト数] または [成功しました] をクリックすると、ジョブの詳細とダウンロードオプションが表示されます。

a. * ファイル / 添付ファイルのリストア * を含むエクスポートジョブには、次の 3 つのダウンロードオプションがあります。

i.

結果については、をクリックします




A. Finder で、ダウンロードした .tar.gz ファイルを探します。

B. ファイルを解凍して .tar ファイルを取得します。

C. .tar ファイルを展開して Excel の結果を確認します。

ii.

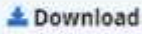
添付ファイルの場合は、をクリックします 。

A. Finder で、ダウンロードした .tar.gz ファイルを探します。

B. ファイルを解凍して .tar ファイルを取得します。


C. .tar ファイルを展開して、添付ファイルを表示します。

iii.


統計レポートを作成するには、をクリックします 。

b. [ファイル / 添付ファイルのリストア *] を使用しないエクスポートジョブの場合、次の 2 つのダウンロードオプションがあります。

i.

結果については、をクリックします 。


ii.

統計レポートを作成するには、をクリックします 。

組織レベルのエクスポート

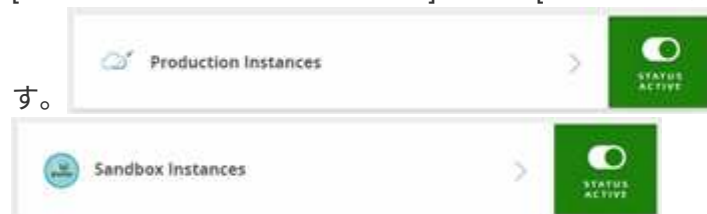
手順

1.

左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  SERVICES

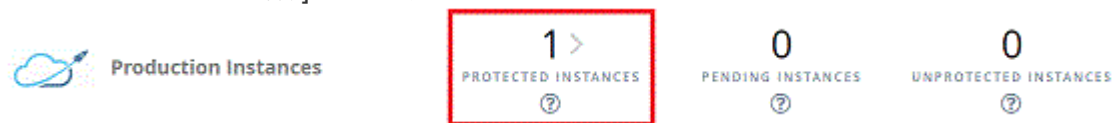
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま

す。



3. [保護されたインスタンスの数] をクリックしま

す。

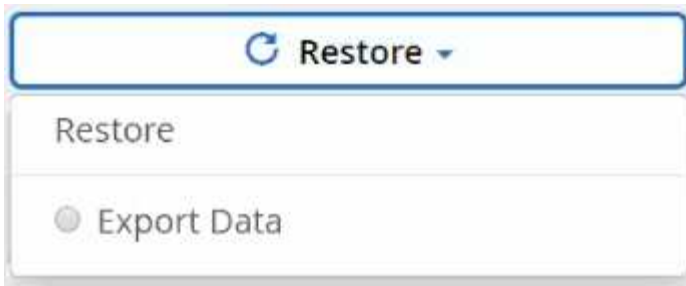


4.



[*Tier] を選択します。

5. [* リストア *] をクリックし、[* データのエクスポート *] オプションをクリックしま



す。

6. 必要に応じて、[ファイル / 添付ファイルを復元 (Restore Files/Attachments)] をクリックしてエクスポートに含める。
7. [Submit (送信)] をクリックします。
8. 左側のペインで [* Jobs] をクリックして、リストア・ジョブを表示します。
9. [合計組織数] または [成功しました] をクリックすると、ジョブの詳細とダウンロードオプションが表示されます。
 - a. * ファイル / 添付ファイルのリストア * を含むエクスポートジョブには、次の 3 つのダウンロードオプションがあります。

i.

結果については、をクリックします

Export Data Download Link

- A. Finder で、ダウンロードした .tar.gz ファイルを探します。
- B. ファイルを解凍して .tar ファイルを取得します。
- C. .tar ファイルを展開して Excel の結果を確認します。

ii.

添付ファイルの場合は、をクリックします

Attachments Download Link

- A. Finder で、ダウンロードした .tar.gz ファイルを探します。
- B. ファイルを解凍して .tar ファイルを取得します。
- C. .tar ファイルを展開して、添付ファイルを表示します。

iii.

統計レポートを作成するには、をクリックします

Download

- b. [ファイル / 添付ファイルのリストア *] を使用しないエクスポートジョブの場合、次の 2 つのダウンロードオプションがあります。

i.

結果については、をクリックします

Export Data Download Link

ii.

統計レポートを作成するには、をクリックします

Download

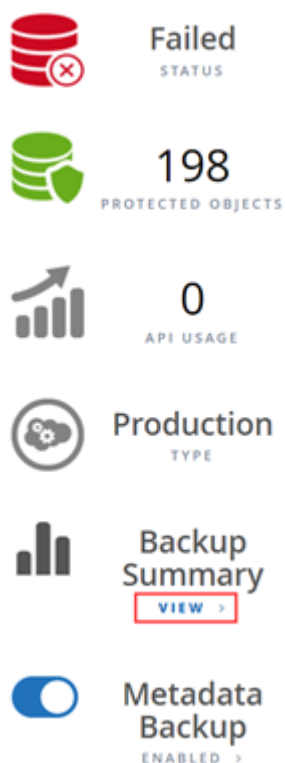
バックアップレコードを表示しています

SaaS Backup for Salesforce では、バックアップレコードの数を確認できます。

最初のフルバックアップでは、組織レベルのバックアップレコードの総数が表示されます。最初のバックアップのあとに、作成、更新、および削除されたレコードの総数を * Backup summary * で確認できます。

手順

1. ダッシュボードで、保護されているインスタンス（本番またはサンドボックス）の数をクリックします。
2. バックアップの概要 * の下の * 表示 * をクリックします。



3. 作成および削除されたレコードの数と、テーブル内のすべてのレコード変更のレコード数を表示します。


OBJECT NAME	CREATED	DELETED	RECORD COUNT	TYPE
1234567890zwexhubnjkmle w7quxuwi xshbggg	0	0	0	Custom
Account	76	0	76	Standard
Account Brand	0	0	0	Standard
Account Contact Relationship	20	0	20	Standard

- * オブジェクト名 * - 組織内のすべてのオブジェクトを含みます。
- * Created * - 作成および更新されたすべてのレコード。
- * Deleted * - 削除されたすべてのレコード。
- * レコード数 * - オブジェクトのバックアップ変更の合計数。

フィードバックを提供する

NetApp SaaS Backup for Salesforce 製品に関するフィードバックは、ネットアップの営業支援にお役立てください。SaaS Backup の内部からフィードバックを送信できます。

手順

1. をクリックします  **SUPPORT** をクリックします。
2. [* フィードバック *] を選択します。
3. 簡単なフィードバックアンケートにご協力ください。
4. [Submit（送信）] をクリックします。

GA/FCS 版の製品マニュアルの初回リリース時や既存マニュアルへの重要な変更があった場合のご案内を希望される場合は、Twitter アカウント @NetAppDoc をフォローしてください。

ヘルプを参照したり、詳細情報を参照したりするには

NetApp SaaS Backup for Salesforce のコミュニティフォーラムやナレッジベースの記事で、サポート情報や詳細を確認できます。

これらのリソースには、ナビゲーションメニューの * Support * リンクから SaaS Backup 内でアクセスできます。

SaaS Backup のサポートチームには、 saasbackupsupport@netapp.com から E メールでお問い合わせいただくこともできます。

法的通知

著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

著作権

<http://www.netapp.com/us/legal/copyright.aspx>

商標

NetApp、NetApp のロゴ、および NetApp の商標ページに記載されているマークは、NetApp, Inc. の商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

<http://www.netapp.com/us/legal/netapptmlist.aspx>

特許

ネットアップが所有する特許の最新リストは、次のサイトで入手できます。

<https://www.netapp.com/us/media/patents-page.pdf>

プライバシーポリシー

<https://www.netapp.com/us/legal/privacypolicy/index.aspx>

オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

["SaaS Backup に関する注意事項"](#)

Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.